

倫理教育実施ガイドライン

1. 目的

日本原子力学会の標準策定活動に係り、原子力学会で定めた倫理規程及び行動の手引を周知し、公正性、公平性、透明性を意識した活動の推進を徹底することを目的に、福島を踏まえた対応強化を中心に意見交換を実施する。

2. 活動基本方針

原子力学会倫理規程等の尊重及び実践については、標準委員会運営細則（1101-00-01, H28.6.15）の「4条 委員の選任・退任・解任」において、また、標準委員会の活動基本方針（H28.9.13）の「3.2(2)倫理意識の浸透・向上」において明記している。

この倫理教育に関する周知及び意見交換活動は、標準委員会、専門部会、分科会の委員に対して、年に1回の開催を計画し、記録（議事録、出席者リスト等）を残すことを原則とする。また、当日の倫理教育実施時に欠席者した委員/新任の委員については、当日の資料を送付して自習教育の実施を依頼し、実施修了をメールで事務局に報告することを原則とする。活動状況は各年度内でフォローし、標準委員会に報告する。

- 開催頻度 年1回（各年度に実施）
- 対象者 標準委員会、専門部会、分科会の委員
- 活動実績 標準委員会及び専門部会での議事録に活動実績として記録
- フォロー 倫理教育欠席者の自習教育等のフォローを実施。（年度内）

3. 対応要領

3.1 説明会の開催

- a) 説明講師について、標準委員会での説明は、倫理委員会及び企画委員会に講師を依頼する。また、標準委員会基本活動方針について、標準委員会の有識者による説明を実施する。専門部会/分科会での説明者は、標準委員会/専門部会での修了者が行うことを原則とする。
- b) 説明会の時間は、質疑応答を含め1時間程度を目安に計画する。
- c) 活動実績について、標準委員会、専門部会及び分科会での議事録に記録し、さらに、対象者である委員の周知活動実績フォローリストを作成する（様式-1）。

3.2 未修了者フォローおよび新任者のフォロー

- a) 当日の倫理教育実施時に欠席者した委員および新任者については、倫理教育当日の資料を送付して自習教育の実施を依頼し、実施修了をメールで事務局に報告することを原則とする。
- b) 標準委員会については、標準活動基本戦略タスク事務局でフォローするものとし、専門部会及び分科会については、各専門部会でフォローし、活動状況は周知活動状況フォローリストに反映する。
- c) 活動状況は、標準委員会、専門部会及び分科会の状況として標準委員会に報告する（様式-2）。

様式-1 倫理教育実績フォローリスト

様式-2 標準委員会への倫理教育実施状況報告

参考-1 欠席者への自習等による活動依頼メール（サンプル）

様式－1 倫理教育実績フォローリスト

※ なお、専門部会及び分科会の活動状況フォローについて、別のフォーマットで同様に実施している場合は、全く同じフォーマットの必要はない。

20xx年度 標準委員会 倫理規程等の周知徹底活動

第xx回標準委員会(20xx/xx/xx)倫理規程等の周知活動フォロー表

開催時間 : 20xx年xx月xx日(x) xx:xx-xx:xx

(1) x x x x

(2) x x x x

(フォロー: 20xx.xx.xx)

役職	氏名 (敬称略)	所属	xx/xxの修了者	自習等での 対応状況	備考

委員以外の修了者(20xx年xx月xx日)

専門部会等での講師として活動いただく事が可能

役職	氏名(敬称略)	修了者	所属	備考

以上

様式-1の記載例(サンプル)

2017年度 標準委員会 倫理規程等の周知徹底活動

第69回標準委員会(2017/6/7)倫理規程等の周知活動フォロー表

開催時間 : 2017年6月7日(水)12:45-13:55

- (1)原子力学会の行動指針+倫理規定 (担当:倫理委員会/企画委員会) (12:45-13:30)
 (2)標準委員会活動基本方針 (担当:標準委員会) (13:30-13:50)

(フォロー: 2017.XX.XX)

役職	氏名 (敬称略)	所属	6/7の修了者	自習等での対応状況	備考
委員長			○		
副委員長			○		
幹事			×	②専門部会(8/22)	
学識経験者			×		
			×		
			×		
			×	①自習(11/10)	
学術研究機関			○		
			×		
			○		
製造業			×	①自習(8/25)	
			○		
			○		
エンジニアリング会社			○		
			×		
			○		
電力事業者等			○		
			○		
			○		
			×		
その他			×	①自習(8/25)	
			○		

委員以外の修了者(2017年6月7日)

専門部会等での講師として活動いただく事が可能

役職	氏名(敬称略)	修了者	所属	備考
フェロー委員		○		
フェロー委員		○		
常時参加者		○		
常時参加者		○		
代理出席者		○		
代理出席者		○		
説明者		○		
説明者		○		

以上

様式-2 標準委員会への倫理教育実施状況報告書

「倫理規程の周知徹底」に関する活動状況について

xx-xx-xx 標準活動基本戦略タスク

20xx年度の「倫理規定の周知徹底の活動」について、標準委員会及び各専門部会の活動状況について、以下に整理した。

- x月の第xx回標準委員会において、今年度の周知徹底活動をスタートさせ、その後は、標準委員会の修了者が講師となり専門部会での活動を進めている。更には分科会の全ての標準策定に係わる委員の全員を対象に活動を進めている。
- 説明会の欠席者に対しては、自習活動、他部会/分科会の周知活動への参加等を促し、周知活動を継続して推進していく。
- 以下に現在の活動状況として、xxxの専門部会での活動状況を含めて纏めた。年度内で、分科会の委員を含め全委員の活動修了を目指してフォローしていく。

組織	委員総数	修了者	未修了者	備考
標準委員会				
リスク専門部会				
分科会				
システム安全専門部会				
分科会				
基盤応用・廃炉技術専門部会				
分科会				
原子燃料サイクル専門部会				
分科会				

様式-2の記載例(サンプル)

「倫理規程の周知徹底」に関する活動状況について

xx-xx-xx 標準活動基本戦略タスク

H29年度の「倫理規定の周知徹底の活動」について、標準委員会及び各専門部会の活動状況について、以下に整理した。

- 6月の第69回標準委員会において、倫理委員会の大場委員長を講師に招き、今年度も昨年に引き続いて周知徹底活動をスタートさせ、その後は、標準委員会の修了者が講師となり専門部会での活動を進めている。更には分科会の全ての標準策定に係わる委員の全員を対象に活動を進めている。
- 説明会の欠席者に対しては、自習活動、他部会、分科会の周知活動への参加等を促し、周知活動を継続して推進していく。
- 以下に現在の活動状況として、8月末の専門部会での活動状況を含めて纏めた。年度内で、分科会の委員を含め全委員の活動修了を目指してフォローしていく。

組織	委員総数	修了者	未修了者	備考
標準委員会	25人	19人	6人	11/10時点
リスク専門部会	24人	23人	1人	11/18時点(※1)
分科会	138人	135人	3人	11/30時点(※2)
システム安全専門部会	20人	20人	—	11/11時点
分科会	30人	29人	1人	11/25時点(※3)
基盤応用・廃炉技術専門部会	16人	16人	—	11/10時点
分科会				活動状況フォロー中
原子燃料サイクル専門部会	23人	19人	4人	11/22時点
分科会	42人	25人	17人	11/22時点(※4)

(※1) リスク専門部会の未修了者1名は、米国人であり、日本語テキストでの自習は難しいとのこと。今後の対応について調整していく。

(※2) 全ての分科会で周知活動実施済。未修了者への自習活動フォロー継続中

(※3) 統合的安全性向上分科会とSAM分科会の実績。PLM分科会、水化学管理分科会、炉心燃料分科会は今後講習会を開催していく予定。

(※4) リサイクル燃料貯蔵分科会とLLW廃棄体等製作・管理分科会の実績。LLW放射能評価分科会、LLW埋設後管理分科会、LLW処分安全評価分科会については活動状況フォロー中。

参考-1 欠席者への自習等による活動依頼メール(サンプル)

標準委員会委員 倫理規程等の周知徹底活動 未修了者御中
※本メールは周知徹底活動の未修了者に BCC で送付させて頂いています。
CC:タスク主査, 代理, 幹事, 担当委員

標準委員会事務局

いつもお世話になっています。日本原子力学会の〇〇です。

すでに、ご承知おきのとおり、第 69 回標準委員会(2017 年 6 月 7 日)において「原子力学会で定めた倫理規程と行動の手引に関する周知について」講習会が実施されました。

ついては、未修了者を対象に、アフターフォローを実施したく、ご協力方よろしく
お願い致します。

(アフターフォロー内容)

1. 各自において、以下①②のいずれかで受講し、本メールの返信において各自の活動結果を標準委員会の事務局に報告いただく。
(以下の報告内容を参考にご連絡いただく)

- ① 添付資料で自習頂く。
もしくは
- ② 各自、今後、各専門部会にて実施される専門部会用倫理規程等講習会に出席頂く。
(開催日時、場所等の情報については必要に応じて事務局に問合せください。)
 - ・リスク専門部会
 - ・システム安全専門部会
 - ・原子燃料サイクル専門部会
 - ・基盤応用・廃炉技術専門部会

(添付資料)

- SC69-説明-1-1 標準委員会 倫理規程の周知徹底活動 倫理規程について
- SC69-説明-1-2 標準委員会 倫理規程の周知徹底活動 倫理規程事例
東日本大震災における原子力分野の事例に学ぶ技術者倫理
- SC69-説明-1-3 標準委員会 倫理規程の周知徹底活動 行動指針について 2017 年度
(参考) SC69-説明-2 原子力学会の行動指針
(参考) SC69-説明-3 日本原子力学会倫理規程
- SC69-説明-4 標準委員会活動基本方針

---(報告内容)-----

1. 名前
2. 受講の分類 以下のいずれかを選択。
① 自習を実施 ② 専門部会での周知活動に参加
3. 日時 (月 日)
4. 学習時間 (約 分)
5. 感想/意見(任意)
6. 次回への期待等(任意)

報告先:学会事務局:sc@aesj.or.jp
タスク担当:xxxxxx@xxx.xx.xx

なお、本件は、標準活動基本戦略タスク(8/19)での合意に基づき実施するものです。
また、アフターフォロー結果は、次回標準委員会(9/6 予定)に報告させて頂く予定です。
8/25 までにメールで活動結果を連絡いただけた分までは 9 月の報告に含めます。

以上 よろしくお願い致します。